

第4回 熊谷市地域公共交通会議 議事録

日時 平成22年2月5日(金)

午後2時から3時30分まで

場所 熊谷市役所603会議室 [東]

出席者 19名(うち代理3名)

欠席者 5名

会議議題

- 報告案件 (1) 経過について
(2) 設置要綱の改正について
(3) ゆうゆうバスの無料対象者の拡大について

- 議事案件 第1号 新ゆうゆうバス運行に関する方向性(案)について
～承認～
第2号 平成22年度事業計画(案)について ～承認～
第3号 平成22年度歳入歳出予算(案)について ～承認～

会議資料

- ①資料1-1 経過及び今後のスケジュール
- ②資料1-2 熊谷市地域公共交通会議について
- ③資料2 熊谷市地域公共交通会議 設置要綱
- ④参考資料1 熊谷市地域公共交通会議 事務局規程
- ⑤参考資料2 熊谷市地域公共交通会議 財務規程
- ⑥議案第1号 新ゆうゆうバス運行に関する方向性(案)
- ⑦議案第2号 平成22年度事業計画(案)
- ⑧議案第3号 平成22年度歳入歳出予算(案)

会議経過及び発言要旨

1 開 会 事務局

2 あいさつ 副会長

この会議は今回が4回目で、小委員会はすでに4回を開催し、ゆうゆうバスの試乗会も行った。おかげさまで、活発な討議が行えた。小委員会委員さんにはお疲れ様でした。

本日は小委員会で話し合ったことがまとめられて「新ゆうゆうバス運行に関する方向性(案)」ということで議案とすることができた。

今日は、様々なお立場の方が出席している。忌憚の無いご意見をいただきたい。

3 報 告 議長 副会長

- (1) 経過について(資料1-1、1-2) 説明 事務局
～～～資料に基づき説明～～～

国の地域公共交通活性化・再生総合事業に取り組むため、本会議に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の役割を加え、要綱の改正を行う。

平成22年度には、国からの交付金を申請し、交付金で、連携計画の策定に係る調査を行う（電気バスの実証運行、需要予測、採算性検討）

(2) 設置要綱の改正について （資料2）説明 事務局

～～～主な改正点を説明～～～

(3) ゆうゆうバスの無料対象者の拡大について 説明 事務局

市では、70歳以上の運転免許自主返納者を無料することで準備をしている。目的は、高齢ドライバーの事故防止である。この事業は、市長のマニフェストでもある。

補足説明 熊谷警察署交通課

- 交通事故の現状について
- 高齢ドライバーの交通事故の現状について
- 運転免許の自主返納について

～～～主な質疑応答～～～

- 自主返納の運転経歴証明証の6年間とはどういうことか
→その方の過去6年間の運転種類などが掲載される。
- 運転経歴証明証の発行を全国一律で行っていただければ、身分証明書になるのではないか。
→全国でも統一の書式である。しかし、身分証にならない場合もあるということだけ、ご承知おきいただきたい。

4 議 事

議案第1号 新ゆうゆうバス運行に関する方向性（案） 説明 事務局

～～～資料に基づき説明～～～

～～～主な質疑応答～～～

- バス運行事業者の選定・協定の締結について詳しく聞きたい。
→この議案は、方向性を示したものであり、詳しいことは決まっていない。この方向性をもとに詳しい内容は今後の計画策定の中で決まってくるものである。
ただ、一ついえることは、事業者の決定は、企画提案方式で決めようということである。

～～～第1号議案 承認～～～

議案第2号 平成22年度事業計画（案）について

議案第3号 平成22年度歳入歳出予算（案）について 説明 事務局

～～～資料に基づき説明～～～

～～～主な質疑応答～～～

●事業計画の「地域公共交通総合連携計画」策定事業の内容は、
どんなものなのか。

→コンサルタントへ委託し、本市の現状分析や、市民へのアンケート調査、需要予測、電気バスの実証運行を行い、連携計画の策定を行う。

●新ゆうゆうバス運行に関する方向性が認められたが、これに縛られすぎずに検討していくことでいいのか。

→そのとおり。今後の検討によって変わることもありうる。

●交通会議委員が増えることはあるのか。

→必要に応じ可能である。

委員にならなくても、そのときだけ参加することも可能である。

●ゆうゆうバスの運行事業者を選定する基準は、見積り額だけで選定せず、安全性や収益拡大に対する取組み、環境への取組み、緊急時・事故時の対応など、総合的に選んでいくことを望む。

また、ゆうゆうバスと路線バス・タクシー、それぞれの業種が連携し、活性化するようなことを考えていくことを望む。

～～～第2，3号議案 承認～～～

5 その他

次の会議は、4月下旬～5月上旬を予定

6 閉 会

～～～情報提供～～～

「電気バスの開発について」 事務局 説明